

| | | | | | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | 社会学(リハ) | 担当 | 高崎 義幸 | 履修学年 | 1年 |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 選択 | 単位数 | 2単位 |

【授業目標・到達目標】

人間の社会の構造や役割、関係等を知り、社会的存在としての人間を多面的に理解し、相対的なものの見方考え方を身につけることを目指す。

【履修注意】

積極的な授業参加と毎回配布するコメントカードへの記入が求められる。
欠席回数が5回に達した場合、期末試験の受験資格を喪失し、単位不認定となる。
必要な知識は下記の参考文献から得ること。参考文献は読んでおくことが前提となる。

【評価方法】

毎回配布するコメントカード(20%)、理解度確認テスト(20%)、期末試験(60%)を総合し評価する。

【試験について】

授業内容に関する筆記試験を実施する。
再試験は実施しない。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

教科書は使用しない。

【参考書】

『社会学』著者:長谷川公一ほか(2007)出版社:有斐閣
『グローバル化時代の新しい社会学』著者:西原和久ほか(2007)出版社:新泉社

【その他の注意事項】

授業内容と関係のない行為には厳格に対処する。

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|---------------|----------------------|
| 1 | イントロダクション | 社会のしくみ、社会学的ものの見方、考え方 |
| 2 | 社会学とはどのような学問か | 社会学の対象、類型 |
| 3 | 社会学史 | コント、テンニース、ジンメル、デュルケム |
| 4 | 行為と集団 | 空間、儀礼的無関心、ゴフマン |
| 5 | 地位と役割 | T.パーソンズ、役割演技 |
| 6 | 家族 | 家制度、近代家族、家族の変容 |
| 7 | ジェンダー | 性差、男らしさ・女らしさとは |
| 8 | 中間まとめ | これまでの授業のまとめと理解度確認テスト |
| 9 | 社会的ジレンマ | 意図せざる結果 |
| 10 | 社会的ジレンマ | 予言の自己成就 |
| 11 | 環境問題 | 経済の成長と公害問題 |
| 12 | 国家とグローバリゼーション | グローバリゼーションとナショナリズム |
| 13 | 国家とグローバリゼーション | 国民国家の成立、想像の共同体 |
| 14 | 格差と階層化 | 近代化と階級・階層 |
| 15 | 格差と階層化 | 現代における格差と階層化の構造 |
| 16 | 期末試験 | 期末試験 |